生命科学・医学系研究実施のお知らせ (ver1.3)

東京慈恵会医科大学倫理委員会の審査を受け、以下の研究を実施しております。

本研究に関する内容の詳細等、お知りになりたい方は下記【問い合わせ先】までご連絡ください。なお、試料・情報が本研究に用いられることについて、研究の対象となる方(もしくは代理人の方)にご了承いただけない場合は研究対象から除外いたしますので、下記【問い合わせ先】までお申し出ください。

	脳動脈瘤塞栓術におけるバルーン付きガイディングカテーテル使用と術は破裂後の予後の関連			
【研究課題名】	The Role of Balloon guiding catheters in Intraoperative rupture			
	during coil embolization of intracranial aneurysms study (ROLEBGC			
	study)			
1. 研究の目的と方 法	脳動脈瘤塞栓術中における脳動脈瘤破裂時のバルーン付きガイディングカテーテ			
	 ルの使用の有用性を調査する。慈恵大学の関連病院より、脳動脈瘤塞栓術中の術			
	中破裂数と手術情報および破裂時の対応および予後に関する情報収集を行い、バ			
	ルーン付きガイディングカテーテルの使用の有用性を検証します。			
2. 研究期間	倫理委員会承認日~2027 年 12 月 31 日まで、研究の実施を予定しています。			
3. 対象となる方等	頭蓋内脳動脈瘤の患者さんで、2003年1月1日~2024年12月31日の間に東京慈			
	恵会医科大学附属病院・葛飾医療センター・附属柏病院・附属第三病院にて脳動脈			
	瘤塞栓術の治療を受けた 18 歳以上の方。			
4. 研究に利用する 試料・情報につ いて	(1)試料の種類	類は特は使用しません。		
	(2)試料の取得	試料は使用しないため、該当しません。		
	の方法			
	(3)情報の種類	診断名、性別、年齢、身体所見、治療時の手術機材情報、術前後		
		の患者さんの状態、予後について		
	(4)情報の取得 の方法	診療録から診療時のデータを収集します。		
5. 研究の実施体制	あなたの試料・情報は、以下の研究者が研究のために利用します。			
	試料・情報は、(3)の管理責任者が責任をもって、保管・管理します。			
	(1) 当施設の 研究責任者	研究機関名	東京慈恵会医科大学 脳神経外科学講座	
	または研究	氏名	村山雄一	
	代表者			
	(2) 当施設の長	東京慈恵会医	科大学 学長 松藤千弥	
	(3) 当施設の	東京慈恵会医科大学 脳神経外科学講座 石橋敏寛		
	試料・情報の			
	管理責任者 (4) 共同で研究	この研究ではサロで研究を実施する機関はもリません		
	を実施する	この研究では共同で研究を実施する機関はありません。 		
	施設とその			
	責任者			
6. 試料・情報を他	取り 情報の利用開始予定日:2025 年 11 月頃~			
機関とやり取り				
7 3 C C C 7 C				
	<u> </u>			

【問い合わせ先】

機関名:

東京慈恵会医科大学 脳神経外科学講座

研究責任者:教授 村山 雄一

窓口担当者:教授 石橋 敏寛(いしばし としひろ)

電話番号:03-3433-1111(内線 3461)

<個人情報保護相談窓口>

附属病院本院:03-5400-1272(直通)

対応時間:午前9時~午後4時/休診日を除く

研究機関名:東京慈恵会医科大学附属第三病院 脳神経外科

研究責任者:加藤 直樹(かとう なおき) 電話番号(内線):03-3480-1151(内線:3314)

<個人情報保護相談窓口>

附属第三病院: 03-3480-1151 (直通)

受付時間:午前9時~午後4時/休診日を除く

研究機関名:東京慈恵会医科大学葛飾医療センター 脳神経外科

研究分担責任者: 菅 一成(かん いっせい) 電話番号(内線):03-3603-2111(内線:3303)

<個人情報保護相談窓口>

葛飾医療センター:0570-009-119(担当:管理課) 対応時間:午前9時~午後5時/休診日を除く

研究機関名:東京慈恵会医科大学附属柏病院 脳神経外科

研究分担責任者:舘 林太郎(たち りんたろう)

電話番号(内線):04-7164-1111(脳神経外科外来:2466)

<個人情報保護相談窓口>

東京慈恵会医科大学附属柏病院: 04-7164-1111 内線: 2183

受付時間:午前9時~午後5時/休診日を除く

※<u>利用する情報等からは、お名前、住所、電話番号、カルテ番号など、個人を特定できる情報は削除いたします。</u> 研究成果を学会や論文で発表する際も個人が特定できる情報は利用いたしません。